



さあ、答え合わせをしよう！

Vol.76 調べてみよう～生活文化「食」②

※ココを見てね! ▶ 調べてみよう～生活文化「食(しょく)」

1. おなじ日本列島(れっとう)でも、旧石器時代(きゅうせっきじだい)から、東日本と西日本では食べていた食物も違(ちが)っていたようです。東日本では、どんな木の実を食べていたのかな？

正解:①コケモモ、チョウセンゴヨウ

この答えは、旧石器時代(きゅうせっきじだい)の最初のお話の中に書いてあったね。正解は、①コケモモ、チョウセンゴヨウ。クルミ、ノイチゴ、ヤマブドウ、クリといった木の実は、当時は西日本の植物(しょくぶつ)でした。

2. 縄文時代(じょうもんじだい)の北海道では、イノシシやシカなどとともに、珍(めずら)しい海の動物も食べていました。さて、それは何かな？

正解:②トドやアシカ

トドは、11～5月の秋から春にかけて、北海道の沿岸(えんがん)に来遊(らいゆう)します。かつて、1925年頃までは、礼文島(れぶんとう)の北岸北方に位置(いち)する最高標高(ひょうこう)3メートルの岩礁群(がんしょうぐん)である、種北小島(たねきたこじま)で繁殖(はんしょく)していたことが確認(かくにん)されています。また、縄文時代(じょうもんじだい)の地層(ちそう)からは、アシカの骨(ほね)も見つかっています。だから、正解は、②トドやアシカ。ちなみに、ヒシクイは池や沼(ぬま)に生息(せいそく)し、全体に暗褐色(あんかつしょく)で体が大きく、脚(あし)は短(みじか)め。ヒシの実を好んで食べるから「ヒシクイ」と呼ばれる鳥のことです。サメは狂暴(きょうぼう)なので、当時から、人間が食べるのは難(むずか)しかったのではないかしら???

3. イノシシは、縄文時代にはペットのように大切にされていたそうです。青森県からみつかったイノシシの土製品は、国の重要文化財に指定されるほど、よくできたものでした。さて、どこから出土したのかな？

正解:②十腰内2遺跡(とこしない2いせき)

体長18cm、高さ9.7cm、厚さ4.8cm、前脚(まえあし)の長さ2cm。イノシシの形をした土製品(どせいひん)は、昭和35年、十腰内2遺跡(とこしない2いせき)の緊急(きんきゅう)発掘調査(はくつちようさ)により、縄文時代後期(じょうもんじだいこうき)の遺物(いぶつ)として発見されました。イノシシは、雪のふかい寒いところでは生息(せいそく)できないので、骨(ほね)が見つかるのは東日本より西日本が多いです。でも、北海道(ほっかいどう)や伊豆諸島(いずしょとう)でも見つかっていることから、縄文人が舟(ふね)にのせて連れていったことがわかります。時にはペットのように大切にされて、土製品(どせいひん)にもして、かわいがったのでしょね。正解は②です。有戸鳥井平4遺跡(ありとりいたい4いせき)からは、国宝(こくほう)に指定(してい)された土偶(どぐう)が発見されています。